

令和7年第6回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和7年6月17日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		幸手市立吉田小学校 1階 会議室				
開会の日時・宣告者		令和7年6月17日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和7年6月17日（火）午前11時10分			山 西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教育委員	藤 沼 寛 次	出席
	職務代理者	会 田 研 司	出席	教育委員	古 沢 万 友 実	出席
	教育委員	高 島 勝 也	出席	教育委員	林 晴 実	出席
傍聴人：0人				書 記：佐々木 千晶・坂本 康太		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄				
	教育総務課長	大 竹 孝 典				
	学校教育課長	中 沢 朋 宏				
	社会教育課長	小 山 紀 子				
	吉田小学校長	関 根 渉				

会 議 事 件 名	顛 末
開 会 午前 9 時 30 分 日程第 1 協議事項 小規模校の特性を活 かした学校経営につ いて	教育長 開会を宣する。 吉田小学校長 協議事項について説明する。 《質疑》 藤沼委員 小規模校の学校運営は、子ども達が少ない中、安心感を 得られて、成長過程に大きな効果がある。先生も小規模の 運営の中で、地域の交流等もあり透明感のある運営がで きている。長い人生のうちの 6 年間の一コマに対してど れだけボリューム感を持たせるかが大変難しいが、社会 に出るときに職業選択の幅が広がるような、出会いの機 会を増やすよう指導していただきたい。 高島委員 質問が 3 点ある。1 点目は、総合学習の時間を 2 時間か ら 3 時間するにあたって、全体的な授業時数はどうなる のか。 2 点目は、長期欠席者数の状況について教えていただ きたい。 3 点目は、高い目標というのは具体的にどのような目 標を言うのか教えてほしい。 吉田小学校長 1 点目について、授業時数は各教科の決められた時数 から 1 割減らすことが出来るため、本校は国語、算数、音 楽、家庭科、図工から年間 35 時間減らしている。学年に よって異なるが、概ね国語・算数が 10 時間、その他から 5 時間ずつ上限 1 割の範囲で減らしている。 2 点目について、今年度、長期欠席者はいない。昨年度 も体調不良で 30 日を超えた児童が 1 人いるが、不登校に 当たる児童はいない。コロナ等で長期欠席の児童がおり 遠隔授業を行った経緯があった。 3 点目について、高い目標を具体的には伝えにくい、 人数が少ないので自分の決めた目標を達成するとその後

	が続かない。更に上の目標を口頭で説明しても伝わりづらい。今よりも1歩2歩先に進められるような目標と理解していただきたい。 高島委員 高い目標を目指せないのは、小規模校に限らない。いずれ高校受験で、自身の学力の学校に行ったときに今までのような環境からの変化で試練があり、自身で克服していく課題である。常に高い目標を求めると、逆に子ども達の負担になることもあるので、高い目標に捕らわれすぎずに、昨年度の状況等を伝えたい。小さな学校の良さを活かして指導していただきたい。 林委員 アフタースクールの視察の中で、吉田小学校の学びの様子が少数精鋭ともいえる状況で、集中力も高く感心した。 また、防災への取組はコロナ前より多岐に亘る活動に継続的に取り組んでおり、合併した後も続けてほしい素晴らしい取組であった。被災地で最も困難を伴う事柄の一つがトイレの事情であり、教室での避難生活を想定しながら段ボール製の仮設トイレを体験する訓練を実施すれば、実践的かつ意義深い訓練ができると考えられる。 吉田小学校長 4年生が総合的学習の授業で、防災についての授業をしている。段ボールベッド作成や段ボールパーテーションの体験をしたり、近隣の土地の高低差をジオラマとして作成したりした。今年度は、くらし防災課の職員に防災倉庫の中を説明してもらった。学年が特定はされるが、総合的な学習の時間の中で防災の学習をしている。 古沢委員 学校再編に伴って、今からいろいろな交流をしており、保護者としても安心することが出来た。子ども達から学校再編に対しての意見はどのようなが出ているか。 吉田小学校長 子ども達の心境としては複雑であると感じている。人数が増えることで、同じ趣味の子どもや幼稚園の頃の友達に会える期待と、人数が増える事への不安や、学校が無くなることへの寂しさも感じている様子であった。
--	---

	吉田小学校の学校行事が無くなってしまうかもしれない事には不安を感じている様子だった。嬉しい感情と、不安な感情が半々であると感じた。 保護者はPTA会員が40人を下回って、運営が難しくなっており、やむを得ないと感じている様子だった。統合によりPTA会員が増えることによって負担が減ることへの期待と、吉田小学校の教員とPTA会員の距離感が近い中で運営できているので、統合後への不安もある様子であった。 古沢委員 子ども達の意見を聞いて、深く考えていると理解することが出来た。子ども達は順応性が高いので、メリットをより多く感じられるよう、教育委員会も教員も尽力されているのでこの統廃合がうまくいくのではないかと思う。吉田小学校ならではの地域のつながりが传承されて、相乗効果で他の学校の子ども達も地域の方を大切にする気持ちが生まれると思う。統廃合へ向けての子ども達のケアをお願いしたい。 会田職務代理者 総合学習の時間を3時間にすることで学校の特色を出している。また、国語・算数から10時間減らしても、総合的学習の中で思考力や判断力、表現力が高まっており、この学力を維持できていると思うと、教員の苦勞を感じるし、大変良い運営が出来ている。 昔から地域とのつながりもあり、少人数教育の良さを活かしているのが理解できる。小規模校とは言えど、人数が多かった頃はスポーツ少年団等の活動が維持できており、陸上競技会でも良い結果が出ていた。しかしながら、少人数教育の限界もあり、ここまで人数が減ってしまうと、コミュニティの維持に限界を感じることもある。子ども達の寂しさは理解できるが、大人がどこかで適正規模の判断を適切にしていかなければいけないと思う。 東小中学校になるまでの間に子ども達の学力、コミュニケーション能力の向上に努めていっていただきたい。 吉田小学校長 義務教育学校の開始に2年を切ってしまった。子ども達にできることをやっていきたいと実感した。 高島委員
--	---

専決第 13 号 幸手市学校給食運営委員会委員の委嘱	教育総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 古沢委員 委員の構成員に養護教諭や学校医が入っていないがアレルギーの対応は大丈夫か。 教育総務課長 アレルギーについては、学校の栄養職員等を中心に対応しているが、アレルギー対応マニュアルを改訂する際には栄養職員等のほか、養護教諭も会議に入って情報共有を行っている。
日程第 4 行政報告 1 教育長報告	教育長 1 各種教育長会議等 2 幸手市議会関係 3 人事評価に係る校長面談 4 講演等 教育部長 令和 7 年第 2 回幸手市議会一般質問（教委担当部分）の要旨
2 事務局からの 主要な報告	教育総務課長 1 学校再編について 学校教育課長 1 校長候補者選考及び教頭候補者選考に係る受験予定者数（昨年度比） 2 6 月下旬から 7 月中旬の主な行事予定 社会教育課長 1 第 3 2 回幸手市さくらマラソン大会実行委員会 2 図書館全館休館 3 埼玉葛郡市社会教育振興会総会並びに研修会 4 第 2 9 回幸手市ランチタイムコンサート 5 第 2 回幸手市青少年育成推進員協議会会議 6 非行防止啓発街頭キャンペーン及び非行防止パトロ

	ール（幸手市青少年育成推進員） 7 埼葛人権教育推進協議会総会 社会教育課長（公民館） 1 利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業 について資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 令和7年第2回幸手市議会の内容で、部活動の地域移行（展開）について、自治体の規模間によって地域移行の進め方は異なってくる。幸手市の自治体及び各学校の規模を鑑みると、枠組みを先に作っていくより、できるところから進めていって模索していった方が幸手市のやり方として良いのではないかと考えている。 教育部長 委員のご意見のとおり、幸手市の実情も踏まえて委員の皆様と一緒に協議して模索していきたいと考えている。 林委員 東小中学校の校歌の作曲をお願いするとなると、予算の計上があるのかどうか。 教育総務課長 専門家をお願いする場合は、それなりの費用負担が発生することから、予算計上が必要になると考えている。 古沢委員
--	---

日程第 5 その他 1 次回以降の会議 日程	6 月 2 8 日植林体験活動はどこの学校でどのような活動目的でやるのか教えていただきたい。 学校教育課長 特定の学校ではなく、市内の小中学校と保護者に通知して公募した。5 月に埼玉県で植樹祭が行われた関連の記念行事で、幸手市内の企業である大成建設の提案で実現した。子ども達の環境、自然を大切にする気持ちを育てたいという目的で募集した中で、保護者と児童合わせて 2 0 人程度が参加予定である。 会田職務代理者 質問が 2 点ある。1 点目は、教頭試験の受験者が少ないのはなぜか。教頭試験の受験資格年齢の職員が少ないのか。管理職に魅力がないのか。幸手市の現状を教えてほしい。 2 点目は、幸手小・八代小が終業式の日に宿泊合宿を当てているのはなぜか。 学校教育課長 1 点目については、教頭選考試験該当の年齢層が少ないという現状は否めない。試験の該当年齢ではあるが子育て世代であるため、現在は受験を望まないという意見もある。また、受験資格の年齢に達しないが力がある職員はいるが、教頭試験の年齢要件が来年度から 1 年ずつ上がってしまうので、数年受験できない職員もいる。 2 点目については、終業式と宿泊学習をぶつける理由は正確には把握していないが、夏休みの旅館の予約が取りにくいことと、コロナの時期に夏休み期間を避けて前倒しになる傾向にあったため、夏休み前の状況となっている。八代小学校は終業式を学年別で行うと聞いている。 各委員の意見を調整した結果、7 月の会議について、次のとおり決定する。 令和 7 年第 7 回教育委員会定例会 日時 令和 7 年 7 月 15 日（火） 午前 9 時 30 分
---	---

2 次回の協議事項 3 その他 閉 会 午前 11 時 10 分	会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第二会議室 教育総務課長 協議の結果、「幸手市学校給食の現状」を議題とする。 なし。 教育長 閉会を宣す。
--	---

他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和 7年 7月 15日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 藤 沼 寛 次